

市民意識調査「まちづくりにあなただの声を」アンケート結果

市では、第5次鳥羽市総合計画における後期基本計画および、鳥羽市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、さまざまな事業に取り組んでいます。

めざすまちの姿にどの程度近づいているかを総合的に確認するために、市民のみなさんから施策目標の重要度や満足度をアンケートにより伺いました。このアンケート結果をもとに今後の施策および事業に取り組んでいきます。

企画財政課企画経営室 ☎ (25) 1101

調査対象

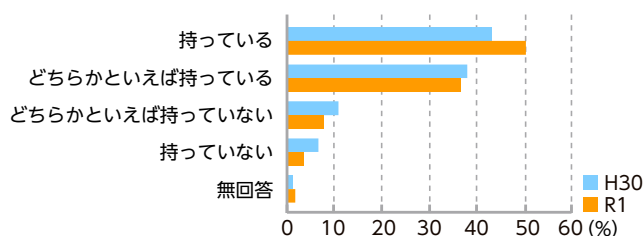
令和元年8月に市内在住の18歳以上の市民2,000人のかたを無作為抽出で選び425人(21.25%)のかたから回答をいただきました。

回答者の年代別

回答者の年代別割合は次の表のとおりで、そのほか無回答のかたが2.6%となりました。

10歳代	0%	50歳代	14.0%
20歳代	4.7%	60歳代	25.3%
30歳代	7.8%	70歳代	24.8%
40歳代	9.9%	80歳代	10.9%

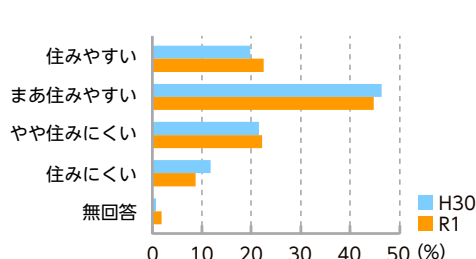
鳥羽への愛着



全体で「持っている」かたは50.4%「どちらかといえば持っている」が36.6%となり、87.0%のかたが愛着を持っており、平成30年度の調査から少し増えています。

また、地域別では長岡地区、鏡浦地区、離島地区の順で愛着を持っているかたの割合が高い傾向にあります。

鳥羽の住みやすさ

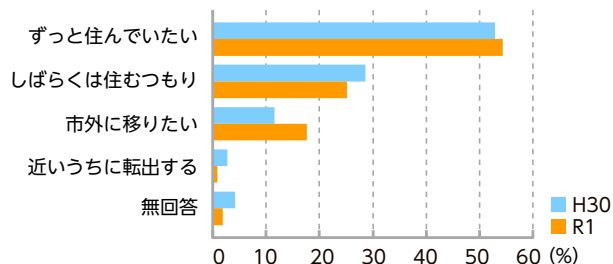


22.5%のかたが「住みやすい」、44.7%のかたが「まあ住みやすい」と答えており、平成30年度の調査と比べると住みやすいと感じるかたが増えてきています。

力を入れてほしいまちづくり分野

全体では、保健医療が15.0%と最も高く、次いで、雇用促進14.6%、福祉12.3%となっています。

今後の定住について



54.4%のかたが「ずっと住んでいたい」、25.1%のかたが「しばらくは住むつもり」と答えています。定住意向があるかたは79.5%となり、平成30年度の結果より2.0%下がっていますが、「ずっと住んでいたい」と回答した割合は1.5%増えています。

住み続けたい理由については、「緑や自然環境が豊かである」「犯罪が少なく風紀がよい」「公害が少ない」となっています。

市政に対する満足度・重要度

重要度が高かった施策

- 1位 安全で安定した水を提供する
- 2位 安心できる社会保障制度を運営する
- 3位 消防・救急体制を充実する
- 4位 いざという時の受診体制を整える
- 5位 災害から市民生活を守る

重要度が低かった施策

- 1位 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる
- 2位 地域づくりに歴史文化を活かす
- 3位 協働のための仕組みをつくる

満足度が高かった施策

- 1位 安全で安定した水を提供する
- 2位 健康づくりに対する意識を高める
- 3位 消防・救急体制を充実する
- 4位 地域ぐるみで子どもたちを育てる
- 5位 資源循環型社会をつくる

満足度が低かった施策

- 1位 若者の地元での就職や起業を支える
- 2位 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる
- 3位 地域産業の経営安定化を図る